

○グループ交流後の意見・質問等について（10月23日 町民会館）

1 グループ目

- ①新校舎に自校給食はないのか。
- ②町民会館がなくなったら、マオイコーラスは今後どのように活動していけばよいか。音楽室は地域開放されていない。
- ③A～D案についてそれぞれ事業費を教えてください。

2 グループ目

- ①基本設計の素案では、トイレと下駄箱の数が少ないと思う。
- ②学校周辺地域（栄町など）からどのようなルートで安全が確保されているか知りたい。
- ③一般開放により受験勉強は集中できるのか。
- ④スペースは人口減を考慮していると思うが、例えば、南幌町は増える活動をしている。人口が増えた場合の対応はどうするのか。
- ⑤児童生徒を送り迎えする際の下車スペースが必要だと思う。

3 グループ目

- ①ホームページを見ることができない人もいる。新しい学校が中学校にできることなど知らなかった、小中が一緒になるのは決まりなのかという意見が出た。
- ②フリースペースは授業としてどうなのか。広さについてトイレの数が少ない、家庭科室は一つで足りるのかと思う。
- ③当別町の写真は広々しているが、長沼町は限られたスペースでと書かれている。せまい環境となるのか。
- ④町民会館の解体は決まりなのか。先行解体とあるが、その後の代わりになるものはあるのか。どこから私たちは意見が言えるのか。来月に説明会があつてそれで決まりみたいにして、そんなに意見が反映されないのではないかと思った。

4 グループ目

- ①新しい学校が地域に開放されることから、防犯上のセキュリティの問題が気になる。一般の人が学校に入ることになるので安全面について疑問に思った。
- ②学校の中に調理室はないのかという意見があつた。
- ③資料を見てもスペースの大きさがわからない。
- ④LGBTの問題で、多目的トイレがあればいいと思う。

- ⑤ A～D案のうち、D案で決まりであると勘違いすると思う。町民会館の代わりに建物はどうなるのか知りたい。

5 グループ

- ① サークル活動の場がなくなって、りふれがあるが、吹き抜けスペースを潰して使いやすい施設にしたらいいのではないか。
- ② 駐車場が足りない。せまいと感じた。
- ③ 住民説明会の開催は2回だけでは不安である。
- ④ 9年間の義務教育課程の編成の中身も知りたい。
- ⑤ 児童や教職員などの意見を聞いていると思うが、教室の造りなどこれからもよく話し合っけて決めてほしい。

6 グループ

- ① なぜ新しい学校の場所は、わざわざ浸水するところにしたのか。避難所の機能を持たすことになると思う。グラウンドの浸水可能性も避けるべき。
- ② 町民会館の新設はどうするのか。併せて検討してほしい。
- ③ 予算がこの回に出ていないのはおかしい。当然新校舎の費用について町税を納めていくことになるので、教育委員会の職員だけでなく他の部署の職員も含めて考えて説明していく必要がある。
- ④ バスの乗り場は遠い。どうせ建てるならスクールバス乗り場は屋根があってもいいのではないか。
- ⑤ D案ありきで行くなら職員駐車場が遠い。教員のストレスも考えてほしい。
- ⑥ 義務教育学校のデメリットは何故書かれていないのか。
- ⑦ 人口が減ることを前提として考えている。増えることを考えないのか。
- ⑧ 8月17日のワークショップについて、どうしてスライドにこの写真を使ったのか。腰に手を当てているのは児童生徒を見下しており、この写真を見て何も思わないのはおかしい。職員も誰も気が付かないことは問題だ。

7 グループ

※他のグループの意見で出ているので発表は控えますとのこと。

8 グループ

- ① 今の高校生が107歳まで生きる社会であれば、学び続けられる施設であってほしい。

○グループディスカッションでの質問・意見等に対する回答

中原学校教育課長からの回答

- ①トイレや駐車場の数については完全に確定したものではありませんので、十分検討します。
- ②町民会館の解体については決定したものではありません。基本構想を作っていく中で検討させていただいており、この度設計会社からご提案をいただいた中でお示しさせていただいている。りふれの多目的会議室や開かれた学校づくりとして、できる限り地域開放についても検討している。このように進めさせていただければと思っております。
- ③自校給食については、全国的な給食センターの事例では防災機能や高齢者のための配食サービスの機能など、複合的な施設が増えてきており、議会でも町長からお答えしたとおり、今後、検討してまいります。
- ④地域開放のセキュリティについては、どういったものがよいのか学校づくり検討委員会も含めて検討してまいります。
- ⑤バスを含めた乗車場の安全面については重要であり、これらについても検討を進めてまいります。

間嶋教育長からの回答

- ①9年間のカリキュラムについては今、学校で検討している最中であります。
- ②腰に手を当てているご指摘については、過去の学校行事でヘルニアになったことで、癖になっていて腰に手を当てております。ご指摘は真摯に受け止めます。
- ③義務教育学校のデメリットについては、小中学校が9年間一緒にマンネリ化が懸念されるが先進自治体などを視察した中で、いろんな行事や小中教育課程の連続性を考えることで改善できるとのことであり、今後も注意深く進めていきます。

○会場全体の質問

1人目

- ①町民会館の解体が決まる時期はいつになるのか。町民会館の利用者にちゃんと意見を聞いてほしい。
- 今後、利用者の方々にご案内をして説明する予定です。決まり次第、改めてお知らせしていきたい。(居上税務住民課長)

2人目

①検討した後、1回しか住民説明会がないのだが、それについてはどう思っているのか。

→期限的なお話をしますと年が明けた3月までに基本設計を完成させる必要があります。貴重なご意見をいただいた中でできることとできないことがあるが、学校づくり検討委員会や現場の先生方の意見も重要であり、できるだけ意見を反映した新しい学校を作っていきたいと思います。(中原学校教育課長)

②本日の質問に対して保留となった回答はどうなるのか。

→多くのご意見をいただいております、主な内容については回答させていただきました。この場で回答できなかったものについては、集約した中で検討委員会において検討させていただきます。(中原学校教育課長)

○グループ交流後の意見・質問等について （10月24日 北長沼会館）

1 グループ目

- ①給食センターは新校舎の中にはない。今のままで使うのか。
- ②町民会館が無くなる前提なのかなと思った。個人的にはB案がいいと思った。葬儀で使用する方も多いので、新しい施設の検討はあるのか。
- ③中学校には記念樹があるが、これからその記念樹はどうなるのか。個人的には無くてもいいと思う。

2 グループ目

- ①給食センターを新しくする件はどうなったのか。
- ②図書館も一緒に一体化した方がいいのではないかと。施設を繋げなくてもなにか連携できたらいいと思う。
- ③町民会館が無くなった場合はどうするのか。
- ④校舎の前のプロムナードについて、校舎を南東側に移動させるとよりスペースができ、イベントなどで住民と生徒が交流することができると思う。

3 グループ目

- ①新校舎に給食センターがないのは大問題である。長沼は農業も含めて食のまちである。食べることの重要性が基本構想に書かれていないのは残念。
- ②今日の資料を見て、「長沼らしさ」がなくて残念だと思った。例えば、融雪溝で活用しているながぬま温泉を引っ張って来て校舎に足湯をつくるなど、もっと長沼らしさがほしい。変わった取り組みを行うなど、魅力的な学校づくりで人を呼び込めると思う。
- ③新しい校舎にすることで、その学びの実現に先生方は付いていけるのか。
- ④開放的過ぎて寒くないのか。

4 グループ目

- ①義務教育学校のデメリットも説明してほしかった。良い面だけでは判断材料にならない。
- ②配置計画についてお金のことが書かれていないので、判断ができない。世紀を跨ぐ建物になると思われる。長いスパンで考えた学校づくりをお願いしたい。

○グループディスカッションでの質問・意見等に対する回答

中原学校教育課長からの回答

- ①給食センターについては、議会でも説明しておりますが義務教育学校は令和9年度開校を目指しております。給食センターを全国的に見ますと防災機能や高齢者のための配食サービスなど複合的な施設が増えてきており、それらも含めて中で検討してまいります。
- ②町民会館の代替については、現実的なものとして、りふれの三世代交流室を活用していただくなどがあります。そして、新しい学校では開かれた学校づくりとして、サブアリーナや体育館、会議室などについて一般開放することを検討しております。
- ③記念樹についてはなるべく保護していくことを考えておりますが、枝払い等も含めて現在、検討中です。
- ④図書館についてですが、まず新しい学校の中に学校図書館を作る予定です。法律で学校図書館は設置する必要があります。今の図書館は新しい校舎と隣接することになるので学習スペースにもなると考えております。
- ⑤「長沼らしさ」についてですが、設計会社や検討委員会で現実的なことも含めて検討していきます。
- ⑥先生が新校舎の造りについて来られるかというご意見についてですが、小学校と中学校が一緒になったことは今までないことです。ただ、令和2年度から小中一貫教育を進めており、今現在も合同研修会などを実施しています。
- ⑦開放的になることで校舎が寒くなるのではないかとのことですが、これについては設計会社からお答えしたいと思っておりますが、今年は猛暑により暑さ対策も重要であると思っており、設備については十分検討してまいります。
- ⑧お金の関係についてですが、今現在、金額的なものはお示しできません。目安としてですが、義務教育学校で児童生徒人数が400人程度のとうべつ学園では事業費が62億～3億程度と言われております。また安平町の早来学園では36億円、砂川市では児童生徒数がおおよそ800人規模で約100億円掛かるのではないかとと言われております。事業費についても今後、議会や学校づくり検討委員会で検討していきます。

日建設計からの回答

- ①プロムナードについてですが、建物の周りをぐるっと周るようにしていきたいと思っており、イベントなどもできるように考えている。例えば、図書館での行事、テラスで学校のイベントなど校舎前でさまざまな交流が生まれるこ

とが期待できると思っています。

- ②「長沼らしさ」についてはずっと考えているところであり、1～9年生をゆるやかに繋いでいけるよう抽象的ですが考えています。食も大切であり、参考にさせていただきます。
- ③寒さについては今の校舎は全体的に暖かい造りとなるよう外面積を減らし、体育館については囲まれているので断熱性を高めていく計画であるので心配ないです。

間嶋教育長からの回答

- ①長沼らしさについては、今、学校建設における特色と校舎が完成してから作る2つの方法があると思っています。家庭科室は一般開放できるよう検討しており、長沼で採れた野菜を家庭科室で町民と児童生徒が調理したりするなどして学校と地域コミュニティとの繋がりや動きが出て、特色が出るということもあると思っています。ハード的な面で畑を持つなどの取り組みを行いながら、1つの特色を作り上げることも検討してまいります。

- ②義務教育学校のデメリットについてですが、人間関係がマンネリ化するのではないかとされておりますが、先進地を視察して確認したところ、異学年交流で克服できるとのことでした。これには先生方の指導力も必要になると考えています。

また、小中一貫となることで6年生が埋没するのではないかという懸念があります。これについても、4・3・2などの学年の区切りなどによって変わってきます。どの学年を伸ばしていけばいいか先生方の指導力も必要になるので、教育委員会としてもサポートしながら取り進めてまいります。

また、体格差で低学年が上級生を怖がるのではないかという懸念もありますが、先進校から話を聞きますと、中学生が小学一年生の面倒を見るケースが多いとのこと。また小学一年生も面倒を見てくれた高学年に憧れを持つことがあることなどから、これらも含めて取り進めてまいります。

○グループ交流後の意見・質問等について（10月26日 南長沼会館）

1 グループ目

- ①AからD案の中でC・D案でいくと町民会館の解体になると利用者はどうなるのか。
- ②エアコンもあるかと思うが、新校舎の空気の流れや風の流れはどうなるのか。
- ③開放感がある校舎では先生の声が届くのか心配である。

2 グループ目

- ①プール授業はどうなるのか。新校舎にはプールがない。バスでの移動になるのか。
- ②子どもからの意見であるが、お手洗いは大小分けずに全て個室にしてほしい。
- ③舞鶴地区はバス通学になるので、バスを待機している間の雨風を凌ぐ屋根などはどうなるのか気になる。

3 グループ目

- ①新校舎ではエアコン設置を強く要望したい。今年に自分の子どもが熱中症になった。
- ②通学の距離に応じたバス運行を考えてほしい。自分の所は学校から700～800mであるが、熱い中、子どもが顔を真っ赤にして歩いて帰ってきた。夏場は命がけである。町の中でもバスを出してほしい。
- ③プールはどこにあるのか。現在のプールを使うのであれば、移動で授業時間が短くなるのではないかと心配である。
- ④給食センターは今のところで作ることになるのか。
- ⑤町民会館の代替は考えているのか。町民会館は大中小と会議室があって安く使える。りふれもあるが使うには距離がある。

○グループディスカッションでの質問・意見等に対する回答

中原学校教育課長からの回答

- ①町民会館については、代替については、現実的なものとして、りふれの三世代交流室を活用していただくなどがあります。そして新しい学校では開かれた学校づくりとして、サブアリーナや体育館、会議室などについて一般開放することを検討しております。
- ②エアコンについては、当然考えており今年は特に暑かったこともあり冷暖房も含めて、出来る限り対応していきたいと思っております。
- ③トイレについては非常に大切であり、休み時間に混雑することがないように検討してまいります。
- ④プールについては距離が遠くなります。今後、開校準備委員会が立ち上がる予定であり、その中で検討してまいります。
- ⑤通学の距離に関するご意見ですが、今年の猛暑のこともあり、夏休み25日・冬休み25日という日数について、夏休みの日数を調整するなど学校側と協議し今後検討してまいります。
- ⑥給食センターについては、議会でも説明しておりますが、給食センターを全国的に見ますと防災機能や高齢者のための配食サービスなど複合的な施設が増えてきており、それらも含めた中で検討してまいります。

日建設計からの回答

- ①エアコンの風通しについては、校舎全体が四角い形であり、冬は暖かく、夏は涼しくなるよう考えています。吹き抜けや高窓になっていて光と風が通る設計となっております。
- ②声の通りについては、1つ1つの教室は大きくないので、声は通る造りとなっている。開放的なので音の影響については教室のドアを閉めることで対応できるが、私が設計したとうべつ学園については、実際に授業を見てみると全ての教室の戸が開いていて、スペースを活用した学びの場となっていました。
- ③バスの待合スペースなどについては、バスが7台同時に駐車できる設計であり、バス待ちを最小にしていくことを検討しています。また、屋根についても検討していきます。

○会場全体の質問・応答

1人目

- ①スクールランチのことですが、2020年の基本方針では自校給食を検討す

るとしている。また、2021年のまちづくり基本計画である8年計画では、学校給食センターについて、給食センターの施設複合化を進めると示されている。総合振興計画はまちの最上位計画であり、なぜ、方針が大きく変わったのか。

給食センターについては、高齢者の配食などを行うのは、学校給食法に反することになり望ましくないと考える。

→誤解をしているようなので、お答えしますが、配食サービスなどは全国的な事例を紹介したまでです。まずは校舎を優先させていただくというものです。

(中原学校教育課長)

→給食については、総合教育会議において報告しており、ホームページでも公表しておりますので、ご容赦いただきたいと思います。

今後も安全確保や長沼高校の配食も含めて検討してまいります。(間島教育長)

②検討するときには私たちが意見を言える場があるのか。

→確保してまいります。(中原学校教育課長)

ぜひいろいろな意見を聞いて進めていただきたい。

2人目

①町民会館の解体について、町はどれだけ利用している団体がいるのか知っているのか。利用者に対する説明はないのか。今の町民会館は住民にとっても便利であり、利用者を中心に軽視している。

→教育委員会から話がありましたとおり、一部は一般開放できるよう新しい学校で検討しているところである。スポーツセンター横に中央会館があり、また東部・西部福祉センターなどがありますので、当面の間は既存施設をご利用いただきたいと考えている。利用者の方々には今後説明会を開催する予定です。

(居上税務住民課長)

ぜひ、利用者に対して話をしてください。ほとんどの人が知らない。相談して決めてほしい。

3人目

①非常口の設置が少ないのではないかと。また、地震などを想定して防災用品を各教室に格納できるなど検討していただきたい。

→非常口はメイン玄関や通級などを想定しており、一階はそれぞれの部屋から出られるように考えている。また、地震については備蓄倉庫を用意する予定であり、発電機など安全安心を第一に考えていきます。(日建設計)